

## 製品安全データシート

## 製造者情報

会社名：第一大宮株式会社  
住所：大阪府摂津市南別府町16-16  
担当部門：樹脂事業部  
電話番号：06-6340-0909  
FAX番号：06-6340-0006

作成 平成20年6月20日

改定 平成27年10月1日

整理番号 DO-1003

製品名（化学名、商品名等）：ドゥ・セラー PPグレード  
(持続型帯電防止プラスチック製発泡シート)

## 物質の特定

単一製品・混合物の区別：混合物  
化学名：ポリプロピレン（EPブロックコポリマー）  
(注) Eはエチレン、Pはプロピレンを表す。  
親水性ポリプロピレン  
化学式または構造式： $[CH_2 - CH(CH_3)]_n$   
官報公示整理番号：(6)-10  
グレード 化審法（安衛法）番号  
CAS番号：9010-79-1

危険有害性の分類 分類の名称：該当せず

危険性：消防法指定可燃物にあたる。  
通常取り扱いでは危険性はないが、切断面での切傷および  
加熱されたシートによる火傷に注意。

応急措置 粉が目に入った場合：直ちに多量の水で15分以上洗眼する。  
洗眼中、眼瞼は十分開いてあらゆる部位まで水がいきわたるよう  
にし、決して目をこすってはならない。  
目に異物感があれば直ちに医師の手当てをうける。  
皮膚に付着した場合：粉末の場合は水で十分に洗い流す。  
熔融物が付着した場合には衣服の上から大量の水をかけ、十分に  
冷却し、医師の判断を仰ぐ。

飲み込んだ場合	:	大量の水を飲ませて、指を差し込んで吐かせる。 異常を感じたり、患者に意識が無い場合には、直ちに医師の手当てを受ける。
吸入した場合	:	高温の熔融樹脂から発生するガスをひどく吸入したときは、直ちに患者を毛布等で包んで安静にさせ、新鮮な空気の所に移し、直ちに医師の手当てを受ける。

---

火災時の措置	消火方法	:	火元の燃焼源を断ち、大量の水・消火剤を使用して消火する。 消火作業は、風上から行い、呼吸保護具を着用する。
	消火剤	:	泡消火剤、粉末、炭酸ガス、大量の水

---

取扱いおよび 保管上の注意	取り扱い	:	通常の手扱いで良いが、吸い込んだり、眼・皮膚および衣服に 触れないように適切な保護具を使用する。 切断面での切傷には特に注意を有する。
	保管	:	雨・風・日光に晒されない屋内で、常温で保管する。 保管場所では、みだりに火気を使用しない。

---

物理／化学的	外観等	:	発泡成形板
	性質 融点	:	150℃以上
	見かけ比重	:	0.3～0.4 (グレードにより異なる)
	溶解性	:	水に不溶

---

危険性情報	発火点	:	490℃
	可燃性	:	有り (消防法指定可燃物)
	酸素指数	:	18
	酸化性	:	なし
	安定性・反応性	:	一般的な貯蔵・取り扱いにおいて安定である。
	自己反応性・爆発性	:	なし
	自己反応性・揮発性	:	なし (注) 105℃ 5時間での揮発分は0.15% 以下

---

有害性情報	(1) データがほとんど無い。 エチレンプロピレンコポリマー (CAS No. 9010-79-1) は吸入、経口摂取、皮膚吸収により、有害性を示すかもしれないとの記載が有り、また皮膚刺激性を示すかもしれないという記載もある。
	(2) 食品衛生法・食品、添加物等の規格基準(昭和34年厚生省告示第370号)に適合する。

---

環境影響情報	(1) データは知られていないが、鳥類、魚類等が摂取する可能性が有りうるため、い
--------	--

かなる海洋や水域でも投棄、放出してはならない。

(2) 物質の成分に塩素元素を含んでいないので、焼却処理をしても塩化水素やダイオキシンなどの塩素系有害物は発生しない。

また、物質の成分に環境ホルモン物質を含んでおらず、焼却処理などで環境ホルモン物質が発生することもない。

---

廃棄上の注意 原則として廃棄物は焼却または埋め立てによって処理する。焼却するときは、焼却設備を用いて大気汚染防止法に適合した処理を施し焼却する。  
埋め立てるときは、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」に従って処理する。

---

輸送上の注意 (1) 梱包装が破れないように、水漏れや乱暴な取り扱いを避ける。特に、角(かど)の傷付けには注意する。  
(2) パレット輸送の場合には、落下・荷崩れ等に特に注意する。  
(3) 火気厳禁

---

適用法令 消防法 指定可燃物 (合成樹脂類) (3000kg)  
火災予防条例準則第34条

---

その他 引用文献 (1) プラスチック エージ、28(10)、76(1982)  
(2) 日本プラスチック工業連盟標準試験法研究資料  
(3) R. E. Lenga ed., "The Sigma-Aldrich Library of Chemical Safety Data", 1st ed. (1985)

---

#### 記載内容の取り扱い

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は通常の手続きを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。